

動物－５ アナグマ

体長約50cm、尾長約15cm、体重約10kgのイタチ科の動物です。あしは太短く、長く湾曲したツメをもっています。体色は背中が灰褐色^{はいかつしよく}、腹部と足は黒色、口先から目を通って耳へつながる黒線^{おんたい}があります。ヨーロッパやアジアの温帯地方、日本では本州・四国・九州に分布し、森などに生息しています。



アナグマはその名のとおりトンネル状の穴を掘り、その中に集団で生活^{やこうせい}しています。夜行性^{ざっしよくせい}で昼は穴に潜み、夜に穴を出てエサを探します。雑食性ですが、主なエサはミミズなどです。寒い地域ではクマのような冬眠^{とうみん}をし、暖かい日には穴を出ることもあります。春先に3～4頭の子を産みます。